

# 施策評価シート

施策番号【1-2】

評価年度	令和4年度	事業実施年度	令和3年度	施策主管次長名	木戸 貴 秀	
施策番号	1-2	施策名	心豊かな子どもを育てよう		総合計画掲載頁	66~69
主担当部名	教育部					
関連課名	教育行政課、学校教育課					

## 1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	小中学校教育	R5 中間値	R10 目標値
指標名	「学校は楽しい」と思う児童生徒の割合		
指標の定義	「学校は楽しい」と回答した児童生徒の割合(学校評価アンケート)	(小学校)95% (中学校)90%	(小学校)98% (中学校)93%
取組分野	青少年健全育成	R5 中間値	R10 目標値
指標名	青少年健全育成に関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「青少年健全育成」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	65%	70%
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

## 2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

取組分野1 小中学校教育		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標	
指標①	成果指標名	学校支援ボランティア登録者数	人	36	32	49	60	60
	指標設定の考え方	地域の活力を学校運営に取り入れるため、学校支援ボランティア登録を推進する。						
	対象	市民及び学生	把握方法	学校支援ボランティアに登録した人数				

取組分野2 青少年健全育成		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標	
指標②	成果指標名	街頭啓発活動への参加者数	人	117	0	0	140	150
	指標設定の考え方	青少年が抱える問題の早期発見、早期指導のため、街頭啓発活動を実施する。						
	対象	市民	把握方法	街頭啓発活動への参加者数				

		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
指標③	成果指標名						
	指標設定の考え方						
	対象		把握方法				

		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
指標④	成果指標名						
	指標設定の考え方						
	対象		把握方法				

		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
指標⑤	成果指標名						
	指標設定の考え方						
	対象		把握方法				

## 3 施策の評価

### ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)		
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>心豊かな子どもを育てるため、市内の小中学校では、35人学級の実施や少人数指導など、児童生徒一人一人の教育的ニーズを満たす、きめ細やかな教育を実践している。今後は個別の支援が必要な児童生徒への対応の拡充が重要になる。また、安全・安心・快適な環境づくりを進めるため老朽化した施設の改修や各種設備の整備に取り組んでいる。</li> <li>青少年健全育成の面では、インターネットやスマートフォンなどの普及により、青少年の交流範囲が広がっている一方で、交流相手がわからないなど短所もあり、特に青少年本人の自覚がないまま犯罪に巻き込まれたり、いじめにつながるケースも増えてきている。</li> </ul>	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭・学校・地域の三者が連携して行う話し合いや各種の実践を通して、積極的に児童生徒や青少年と関わりをもち、地域ぐるみで学校と青少年の健全育成を支える。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育を通じて心豊かな子どもを育てるため、保護者や地域の組織と連携して開かれた学校づくりを進める。また、学校教育に必要な施設の整備など教育環境を充実させる。</li> <li>地域において青少年の健全育成のための様々な活動が展開されるよう、環境づくりを進めるとともに、青少年の健全育成に関する団体等との連携を深める。</li> </ul>
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援ボランティアの学校数当たりの人数は、比較可能な日進市、東郷町のいずれよりも多い。</li> <li>青少年補導員による補導活動に関して、豊明市、日進市、東郷町でも類似の見守り活動を実施。豊田市では警察署が類似事業を所管している。</li> <li>本市が実施している青少年を対象とした電話相談「心の電話相談」は、本市以外では実施していない。</li> </ul>	

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和2年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に策定した「みよし市教育振興基本計画」に基づき、各種の事業を展開するとともに、教育委員会だけでなく、PTAや学校評議員会や校区委員会などが連携して、開かれた学校の実践を進めてきた。また、学校内では、平成30年度に道徳の教科化がスタートし、みよし市道徳教育プランを策定するなど道徳教育の研究にも力を入れ、児童生徒の心を育てる教育を大切にしている。</li> <li>青少年健全育成では、青少年健全育成推進協議会による街頭啓発活動や青少年の補導活動の取組の他、「心の電話相談」を実施した。他にも、少年の主張大会の開催やポスターや作文募集などを通じて青少年への啓発活動を実施した。</li> </ul>
令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の豊かな人間性を育むため、令和3年3月に改訂した「みよし市教育振興基本計画(改定版)」に基づく事業を展開するとともに、新たに外国人児童生徒とその保護者への進路説明会として「イングリッシュキャンプ」や就学前の子どもと保護者を対象とした「プレススクール」を開催するなど、個人に寄り添った教育支援を充実させた。</li> <li>新型コロナウイルス対策として28人程度学級の編制や、フェイスガードの配布、スクールサポートスタッフの配置などの取組を行った。</li> <li>児童一人一人にタブレット端末、教室には大型提示装置を導入し、コロナ禍においても効果的な学び合いができる環境を整えた。</li> <li>青少年補導活動に関して、新型コロナウイルス感染予防のためアイモールや祭事での特別補導は中止したが、補導員による地域補導活動を実施した。また「心の電話相談」での受付件数は、令和2年度と比べ増加している。</li> <li>コミュニティースクール構想に基づき、地域全体で子どもの成長や学びを支える体制づくりを進めた。(モデル校:三好中)</li> </ul>
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校教育に関して、心豊かな児童生徒を育てるため、学び合い、学びを深める授業を実施する必要がある。また、地域との関わりをもつ児童生徒や、学校との関わりをもつ保護者、市民を増やしていく必要がある。施設整備の面では大規模改修などを通じた老朽化に対する継続的な取組が必要となっている。</li> <li>青少年の健全育成に関しては、地域の担い手等が徐々に減りつつあり、青少年健全育成活動に対して、理解や協力を求めるのが難しい状況となりつつある。また、新型コロナウイルス感染拡大により、事業開催が一部に限られたため、青少年の健全育成に対する意識の希薄化が懸念されている。</li> </ul>

## 4 活動計画

### ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和4年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルによる「みよし市教育振興基本計画(改訂版)」の検証、評価を実施し、個に応じた教育支援を充実させていく。</li> <li>児童生徒の一人一台タブレット端末をはじめ、ICT機器の有効活用は、個別最適化、協働といった学習へのテーマの実現には不可欠である。また、リモートでの全校集会など、コロナ禍での学校における集団生活には欠かせないものになる。そのため、学校施設のICT化に継続的に取り組んでいく。</li> <li>青少年健全育成では、市民全体で青少年健全育成に取り組む機運を高めるため、青少年補導員による定期巡回を継続実施するとともに、学校、地域の防犯組織などの関係者と協力して青少年を見守り、指導する体制の強化を目指す。市民への街頭啓発活動も引き続き行い、青少年が非行防止や犯罪に巻き込まれないよう、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成に取り組む。</li> <li>みよし市版コミュニティースクール実現のため各小中学校に「学校運営協議会」及び「地域協働本部」を設置する。</li> </ul>
施策目標達成に向けての令和4年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の教育のさらなる充実を目指すため、昨年度中間見直しを行った「みよし市教育振興基本計画(改訂版)」の周知、施策の推進を行う。また、外国人児童生徒のために「プレススクール」を開催し、多様な教育を充実させていくとともに、コロナ禍における学習継続のための体制整備として、ICT活用の調査研究を進める。また、施設整備の面では三吉小学校、南中学校の大規模改修事業や天王小学校の校舎増築事業など、学校施設の老朽化対策や児童増へ対応した施設整備に取り組んでいく。</li> <li>新型コロナウイルス感染予防のため昨年度中止とした青少年補導員による商業施設・駅・公園などの巡回や街頭啓発、青少年の健全育成推進に関する作品募集などの他、地域の青少年健全育成団体などへの支援を実施する。また、家庭学習の習慣が十分に定着しなかったり、学習の遅れがちな中高生に対しみよし未来塾を開催するとともに、心の電話相談窓口も行っていく。</li> <li>コミュニティースクール構想に関しては、三好中で行ったモデル事業を参考に、他小中学校に事業を拡大する。</li> </ul>